



# 越谷にプレーパーク

## をつくる会 通信



[2023.12.26.現在]



←参加前に当会ホームページ新着情報をご確認ください

開催予定・時刻が変更になる場合があります



### 開催予定

1月							2月							3月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4				1	2	3	
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	4	5	6	7	8	9	10
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	17
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	18	19	20	21	22	23	24
29	30	31					26	27	28	29				25	26	27	28	29	30	31

事業名	開催時間	開催場所
○ 越谷プレーパーク 越谷市プレーパーク事業	11時～16時 ※3月出羽公園は 10時～15時	●越谷総合公園 (増林3-1) ※グリーンマルシェ裏側トイレそば ※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。 ●3月は【出羽公園10時～15時】(七左町4-222)
♡ おちかくプレーパーク In 千間台第四公園	10時～12時	千間台第四公園(広場側) (千間台西4-2) コスモス裏 ※近隣有料駐車場をご利用ください
☆ 東越谷プレーパーク 越谷市放課後子ども教室	13時～16時	東越谷第七公園 (花田1-4)

### 会員になってプレーパークを応援しませんか

全国各地で400を超える団体が冒険遊び場づくりに取り組んでいます。越谷にプレーパークをつくる会は、有志の市民が中心となってボランティアで運営しています。会費は活動の大切な資金となっています。越谷市が「遊びあふれるまち」になるよう一緒に願ってくれる方を募集しています。

- 正会員 2000円/年 (活動趣旨に賛同し積極的に応援)
- 賛助会員 1000円/口 何口でも! (財政的にサポート)



自分の責任で自由に遊ぶ

普通の公園が禁止事項ばかりなのは、何かあったときに「公園をつくった人が悪い」と管理者の責任を追及する傾向があるからです。子どもが公園で自由に遊ぶには、「事故は自分の責任」という考え方が基本です。そうしないと禁止事項ばかりが増えてしまい、結果、子どもが自由にチャレンジする機会を奪うことになってしまいます。子どもが思いっきり遊べる場所をみんなの力で作りましょう!

### 寄付先、会費納入先のご案内

- ◆振込 ゆうちょ銀行口座への振込  
店名: 059 預金種目: 当座 口座番号: 0078897  
受取人名: NPO 法人 越谷にプレーパークをつくる会
- ◆郵便振替  
振替口座: ゆうちょ銀行 00540-2-78897  
口座名義: NPO 法人 越谷にプレーパークをつくる会

### プレーパークって?

「〇〇してはいけません」という禁止事項のない遊び場。何をしてもいい、なにもしなくてもいい。穴掘り、木登り、泥んこ遊びや火を使った遊びなど、子どもたちが「やりたい!」と思ったことを自由にできるように、大人たちが知恵を出し合って運営しています。

### プレイリーダーって?

子どもととことん遊び、ありのままを受け入れ、遊び全体に目を配ります。遊びの種を蒔き、遊びを通して子どもたちの相談相手にもなってくれる、親でも先生でもない子どもと対等な大人です。遊びに伴う危険を予測して対応し、遊び場の整備なども行います。

## プレーパークにあそびにおいてよ ～ みんなでつくる遊び場、プレーパーク～



「プレーパークって何ですか?」よく聞かれます。私たちは活動をはじめて約20年の団体ですが、多くの方にとってプレーパーク(冒険遊び場)という言葉はまだなじみがなく、パッとイメージがわくものではないことを痛感しています。私は「子どものやってみたい!に挑戦できる自由な遊び場です」と説明をはじめます。でも、言葉で説明するのがいつもむずかしいと感じています。

プレーパークには、思い切り遊ぶ子どもがたくさんいます。「やってみたい!」を素直に無邪気に、やってみることのできる空気が満ちています。つまり、その子がその子らしくいられる場所です(遊びは誰とも比べられないものです)。



これは、子どもの やってみたい! に寄り添える大人、プレイリーダーという専門職がいるからともいえます。そして、そんな子どもたちの姿に自分の遊び心を刺激され、子どもたちと遊びだす保護者やボランティア、ほほえんで見守る地域の方がたくさんいるから。「わー!楽しい!」という感情は年齢関係なく、伝染していくのでしょうか。いつの間にか、そんな心地よい空気をみんなで作っている(生み出している)のです。



遊び道具をつめこんだ当会オリジナルのプレイカー。2024年は越谷のまちを「どこでも遊び場」に変身だ!

あなたもぜひプレーパークに遊びにきませんか。遊びに来たら思わず笑って、きっとホッとすることでしょう。2024年もたくさん遊べますように。(かなもん)

ホームページ: NPO 法人越谷にプレーパークをつくる会  
メール: koshigaya.asobo@gmail.com

ブログ:

LINE:

Facebook:

Instagram:

**御礼** あたにかいご支援、心より感謝申し上げます。  
●協和興運株式会社さま プレイカーの駐車場を無償でお借りしています。  
●株式会社明和さま 「アクセルブレーカー」(\*車のアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故を防ぐ装置)を無償で取り付けていただきました。



# 私たち自分で遊び場をつくりはじめました

いつもプレーパークで子どもと一緒に（子どもにまけないくらい！）楽しんでいるお二人。ついに楽しむだけでなく、こんな遊び場あったらいいな、とそれぞれ遊び場づくりをはじめました。

## 一緒に春日部プレーパークをつくりませんか？

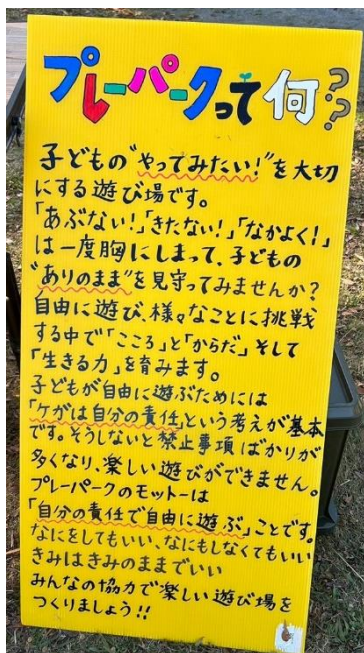
プレーパークではじめて遊んだ帰り道、泥まみれのわが子がふと「だいまんぞくっ」とつぶやきました。私も満ち足りた気分がいっぱいだったことを思い出します。それから多少距離があっても開催しているプレーパークを探し遊びに行くようになりました。最初は我が家にとって遊びのイベントだったプレーパークも、いつしか日常の遊び場となり、そうなるとその延長にもっと身近な場所に子どもも大人も自由にのびのび過ごせるプレーパークのような遊び場があったらいいなと思うようになりました。

私が住む春日部にはプレーパークがありません。春日部にもあったらいいのに…！思いは膨らみます。強く願えば叶うもので、先日春日部市でついにプレーパークを開催することができました。埼玉冒険遊び場づくり連絡協議会のネットワーク強化の事業として、越谷にプレーパークをつくる会のみなさんに協力してもらいました。

どんな場所でも、遊びに寛容な大人が集い、子ども達がありのままで遊ぶ様子を見守り、楽しむ雰囲気さえあれば、もうそこは私が平日頃親しんでいるプレーパークそのものでした。はじめましての人々が

遊びを通して会話を交わし、笑顔と笑い声が広がる空間が誰にとっても居心地がいいということが伝わっているといいなと思います。

今後はプレーパークを春日部市民の力で続けていきたいのです！楽しむ気持ちがあれば十分！一緒に春日部プレーパークをつくりませんか？（あおき）



●12/10 春日部でのプレーパーク開催時に掲示した手作り看板  
連絡先：kasukabe.playpark@gmail.com

## 「のびのびひろば」はじめました

この秋、大袋地区センター主催「お外で子育てしませんか」に参加しました。そこで出会った講師のはっち（越谷プレーパークのプレイリーダーでもあります）がこんなことを教えてくれました。はっちはお子さんが生後半年のとき、友人二人で乳幼児親子がつどえる場「みんなのちびそとひろば」を始めたそう。手書きのチラシを作って、普段の外遊び道具を少し持って。チラシもそれほど配っていないけど、誰も来なくても一緒に始めた親子と遊べばいいやと始めてみたら、2年も続いているそうです。

気楽にできそうだし、自分もやってみたいと思いました。私は普段の子育てで、『子どもを信じて子どもの感じるままに動いて欲しい』をモットーにしています。でも、それは自分一人では、いつもできませんで

した。ただ、プレーパーク ●1月ののびのびひろばの開催チラシに来たときは、そんな理想が実現できました。また、普段、誘い合って親子で遊ぶと、親たちが次第にどの子もやんちゃなのを知り、そんな時の子どもがより生き生きと遊びだすのを見て、子どもに寛容になれたし、居心地の良い雰囲気が作られていった経験がありました。それで、「のびのびひろば」を始めました。まだ2回ですが、お互い頼りあえて、子どもがのびのびしてるってこんな素晴らしいんだねって共に感じられていることが嬉しいです。（あっきー）



（あっきー） @NOBINOBI\_HIROBA

# 埼玉大学とプレイキットをつくりました



## 子どもの遊びたいという気持ちを刺激する遊び道具

私たちが、オリジナルカーをつかって外遊びの機会を街中に広げていきたいと考えた時に、子どもたちに「外に遊びに行きたい」と感じてもらうことがとても大切と思いました。ただし、常設の場ではないので、何日もかけて遊びをつくらせていくことはできません。だからといってイベントのように遊びを提供するだけの場をつくるのは本意ではありません。子どもたちの遊びたいという気持ちを刺激する少しだけ特別と思えるもの・遊び道具があったらと思いました。しかもオリジナルカーで持ち運びができる耐久性のある木材のプレイキットをつくりたいと思いました。

しかし、私たちにはそのノウハウがありません。最初に相談したのはいつも木工のために廃材を提供していただいている会社（樺組）です。するとそれならもっと適任な方がいると埼玉大学の浅田教授をご紹介いただきました。

浅田先生は NPO 法人木育木づかいネットの理事長でもあり、幼児期から木材に触れるためのワークショップを積極的に行っていたことから「モバイルプレイキットプロジェクト」を一緒に取り組むこととなりました。このプロジェクトには埼玉大学の教育学部の学生にも参加していただきました。

## 「モバイルプレイキットプロジェクト」

### ①まずは埼玉大学の授業で、学生たちに私たちの活動の説明

1日目

冒険遊び場づくり、移動式遊び場づくりの説明の後、プレイリーダーと一緒に外遊び体験。  
※木製のモバイルプレイキットのアイデアを宿題としました。

2日目

7 班に分かれてそれぞれのアイデアを発表し合い、班のアイデアとしてまとめたものを全体発表してもらいました。後日、そのアイデアの中から実現可能な遊びのキットを選びました。

### ②いよいよプレイキットの製作 浅田先生の図面をもとに、私たちのメンバー7～8人が埼玉大学の木工室に2日間通い、先生の指導のもと製作しました。

入口がせまいので大人が中に入りにくいため子どもだけの世界が作れる。

#### 六角形のおうち

#### ツリー型落書き版

プレイキットをつくる過程で出た廃材を利用。小さな子どもの目線で落書きが可能。

丸太を敷いてその上を転がして動かすため一人では遊べない。一緒に遊ぶ機会が作れる。

#### トロッコ\*

#### 角材のトランポリン

木材がしなることを利用したトランポリン。平均台にも変身できる。



\*トロッコ

### ③実際の子どもの遊びの様子から改良

六角形のおうちにチョークで落書きする子が多数いたことから、遠慮なくできるように黒板塗料を塗りました。トランポリンの弾み方が悪かったので、板を薄くし

もっとしなるように工夫しました。これからもたくさん子ども達が遊ぶことで変化していくプレイキットになることでしょう。（瀏野）

## 地域の皆さん ありがとうございます

協和興運(株)さま (株)明和さま (株)ワタナベ ネット事業部アンテロープさま  
(株)山下工務店さま 樺組さま 野口組さま イオンスタイルせんげん台さま  
MEATMeet 大袋店さま タイヤガーデン越谷店さま ドラッグストアセキ花田店さま  
ご寄附、ご支援、木材、古タイヤ、段ボール、等提供頂いております。（順不同）